

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	6	学校名	登美ヶ丘高等学校
----	---	-----	----------

1. 取組名 第25回 秋風のコンサート

2. 活動内容

高校生による社会参加活動の一環として学校を開放し、生徒の活動の一端を紹介することにより地域の方々の理解を深め、地域社会に支えられた学校の発展を願って実施いたしました。

3. 成果と課題

地域の構成員の一員として、自らの学舎が、グローバルな発信場所として、義援金活動を行う場ともなり、グローバルな一面を見せている生徒たちの成長が感じられることが一番の成果です。

課題としては、毎年参加いただいていた登美ヶ丘北中学校が、急遽9月初旬に都合により出演できなくなったが、富雄中学校のご協力によりコンサートのクオリティーも維持できたことは大きい。これからも地域の音楽活動等をされている団体との幅広い交流の場を提供することが開かれた学校づくりという点からは、必要なかもしれない。

4. 次年度に向けて



四半世紀を迎えたコンサートは、本校生徒の通学時・教育活動時でのバスや自転車通学時で地域の方々へのご理解を得るために校内で始まった経緯があり、地域住民には恒例行事となるまでに成長した。今年も9月になると開催日時の間い合わせがよくあり、奈良県外から来客者もアンケートから確認できています。このコンサートが本校生徒のために有意義な点は、やはり何といてもプロデュース力を養えるところです。「おもてなし」の精神を実践できる場として、地域の幼保小中高大と参加する行事としてつながっています。

次年度にむけては、すでに学校行事（文化祭）等には、地域のグループホーム利用者には、本校に来ていただいているので、地域のグループとのつながりをもてればコミュニティ・スクールとしての役割を果たせるのではないかと考えています。

地域の担い手は地域で育成できればと考えていますが、登美ヶ丘地域に住んでいない生徒たちも登美ヶ丘地域で地域活動をすることにより、自分の住んでいる地域に戻って様々な経験を、自信をもってできるような生徒を育成させていただくためのイベントの意義は大きいと思います。